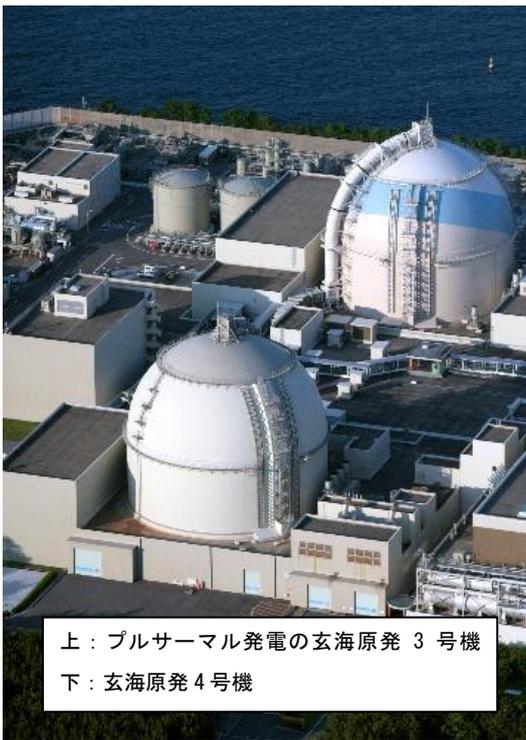


玄海町長の再稼働同意弾劾！

岸本町長と玄海町議会は、

玄海原発の再稼働同意を撤回せよ！

佐賀県知事は、再稼働に同意をするな！



上：プルサーマル発電の玄海原発 3 号機

下：玄海原発 4 号機

本日（2017/03/07）、佐賀県玄海町の岸本英雄町長は、九州電力の玄海原発 3.4 号機の再稼働に同意することを表明しました。私たちは、このことに怒りをもって抗議するとともに、即時撤回を求めます。

そして、市民のみなさんに訴えます。私たちの社会と私たちの未来が、今、危機に瀕しています。命を犠牲にして

つくられる電気などあってはなりません。そのようなものを発電システムの選択肢の一つとして、考えてはなりません。未来の世代に、これ以上負の遺産を残してはなりません。

みなさん！原発はいらない！再稼働絶対反対！の声を、もっともっと大きく挙げていきましょう！

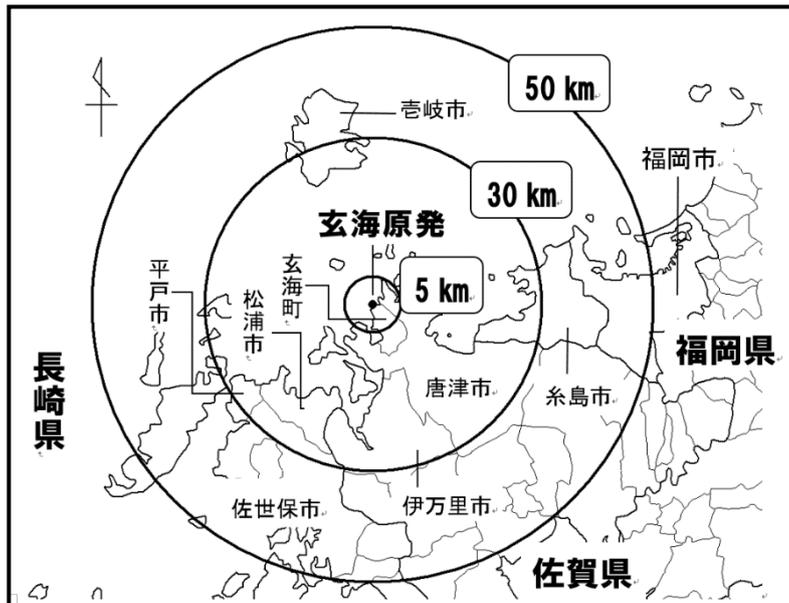
◇佐賀県だけの問題ではありません！
事故の放射能は、佐賀県外にも
甚大な被害をもたらします。

佐賀県 やまぐち 山口 よしのり 祥義 知事

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59
TEL : 0952-25-7081 (原子力安全対策課)
FAX : 0952-25-7269
E-mail: genshiryokuanzentaisaku@pref.saga.lg.jp

玄海原発 3.4号機の再稼働に同意

しないようよう、佐賀県知事に要請しましょう！



左は、玄海原発を中心とした半径5 km、30 km、50 kmの同心円図です。

福島原発事故では、原発から50 km離れた飯館村が全村避難を余儀なくされました。さらに、250 km離れた関東地方にも高濃度の放射能に汚染された場所が多数観測されました。つまり、いったん原発が過酷な事故を起こすと、放射能汚染（原発災害）は県境を越えて極めて広範囲の地域におよぶということです。

仮に玄海原発が福島原発事故と同様の事故を起こし、プルーム（気体状あるいは粒子状の放射性物質を含んだ雲）が北風に吹かれると、玄海町、唐津市、伊万里市を次々と汚染させ、さらに有明海に向けて進みながら放射能汚染区域を広げていきます。西風が吹いている場合、プルームは糸島市（人口10万人）を襲い、次いで玄海原発から市中心部までの距離が約50 kmの福岡市（人口155万人）を襲います。極めて多数の福岡県民が、飯館村民と同じように被ばくしながらの避難を強いられる恐れがあります。また、南風や北東風が吹いている場合は、長崎県の壱岐市、松浦市、平戸市、佐世保市などが放射能に汚染され、それらの地域に住む住民が避難を強いられます。

大地と水と空気が放射能に汚染されると、農業・漁業をはじめとした全ての産業が壊滅的な被害をこうむります。そして、住民は仕事や故郷を失い、困難な避難生活を強いられることとなります。そのような惨事を招いてはなりません。住民の命と暮らしと財産を守り、平穏な生活を守っていくために、玄海原発の再稼働を止めましょう！！

大地と水と空気が放射能に汚染されると、農業・漁業をはじめとした全ての産業が壊滅的な被害をこうむります。そして、住民は仕事や故郷を失い、困難な避難生活を強いられることとなります。そのような惨事を招いてはなりません。住民の命と暮らしと財産を守り、平穏な生活を守っていくために、玄海原発の再稼働を止めましょう！！

■原発を管轄・規制するのは、原子力規制委員会です。その田中俊一委員長は、「安全だということは申し上げない」と繰り返し発言しています。つまり、原発事故がありうるということを言っているのです。

■日本列島は、今、地震活動が極めて活発です。福島原発事故のように、地震が原因となる原発震災の危険性が高いのです。

■原子力災害避難計画は、放射能被ばくが前提です。実効性の乏しい机上の空論です。

■原発は「トイレのないマンション」です。日本には、すでに1万8千トンもの使用済み核燃料がありますが、その最終処分場がありません。

■日本は、現在、約48トンものプルトニウム（長崎型原爆6000発分）を保有しています。原発は、核テロや核開発、核拡散の危機を高め、戦争における重要な攻撃目標となります。

戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会

Tel : 080-8353-5792 (工藤)

E-mail : no_war_no_genpatsu_fukuoka@yahoo.co.jp

http : //no-war-no-genpatsu-fukuoka.jimdo.com/